

2012年12月5日

報道関係各位

株式会社 U B I C
代表取締役社長 守本 正宏
東京都港区港南 2-12-23
(コード番号： 2158 東証マザーズ)

新機能搭載の自社開発システム Lit i View の v5.5 をリリース

株式会社 UBIC (本社：東京都港区、代表取締役社長：守本 正宏、以下 UBIC) はこの度、自社開発の e ディスカバリ証拠開示・支援システム「Lit i View」(リット・アイ・ビュー)のバージョン 5.5 の提供を開始いたします。

本バージョンに搭載した新機能の特長は、e ディスカバリの全工程において、自動化機能を導入することにより、作業時間の短縮と作業の正確性・安全性向上を実現したことが挙げられます。

新機能の主な特徴は以下の通りです。

Lit i View v5.5 に搭載の新機能

クラスタリング機能：

文章の内容が同じ、もしくは類似した文書を自動的に抽出し、グループ化します。英語のみならず、日本語でも高い分類精度を実現しました。e ディスカバリの工程の中でも時間とコストがかかる、レビューの工程のスピードアップに貢献します。

ジョブ・コントローラー機能 (Job Controller)：

文書絞り込みの工程を、スケジュール化して自動実行することが可能になりました。ユーザーによる手動作業を削減し、文書絞り込み工程のスピードアップとミス削減に寄与します。

バッチ・ワークフロー機能 (Batch Workflow)：

レビュー工程を自動化するためのワークフローを予め設計しておく機能です。レビューは通常、レビューアーによる1次レビュー、品質チェックなどのいくつかの工程に分かれますが、どの工程で、どの位の量の文書を、どのレビューアーに割り振るのか、予め設計しておくことができます。従来のように文書群を手動で作る必要がなくなるため、工程間のスムーズな文書の引き渡しと、進捗の把握が容易になります。本機能の搭載により前バージョンと比較して20%強¹の作業効率の向上が見込まれます。

今回リリースした Lit i View v.5.5 の特徴は大きく分けて3つ挙げられます。まずは、作業のスピード化、コスト削減、そして作業精度の向上です。これらの特長は、弊社の e ディスカバリサービスの付加価値に大きく寄与するものであると考えております。今後も引き続き、法律事務所や企業のおお客様のご要望に応えるディスカバリ業界のグローバルリーダーになるべく、お客様にとってより使いやすい Lit i View をご提供するべく引き続き、技術投資および開発に社員一同邁進する所存でございます。

【UBIC リーガルクラウド】

シェアード・プライベート・クラウドとしてのサービス提供を基本としており、e ディスカバリ支援システム「Lit i View」(リット・アイ・ビュー)と、それを利用するための各種ソフトウェア環境を SaaS として提供するばかりでなく、さらに、それを用いたリーガルプロセス支援サービスまでをワンストップで提供します。セキュリティや冗長性といった安全面の機能を担保しながら、同時にシステム運用のコスト低減を実現します。

¹ 当社比較による

【UBICについて】

代表取締役社長：守本 正宏 東京都港区港南 2-12-23

URL: <http://www.ubic.co.jp/>

株式会社 UBIC は、国際的カルテル調査や連邦海外腐敗行為防止法（FCPA）に関連する調査、知財訴訟、PL 訴訟などで要求される電子データの証拠保全及び調査・分析を行う e ディスカバリ事業（電子証拠開示支援事業）のほか、電子データ中心の調査を行なうコンピュータフォレンジック調査サービスを提供する、リーガルハイテクノロジー総合企業。アジア言語対応能力では世界最高水準の技術と、アジア圏最大の処理能力を有するラボを保有。2007 年 12 月米国子会社を設立。アジア・米国双方からアジア企業関連の訴訟支援を実施。2009 年末には企業内でも国際訴訟における電子証拠開示が可能な電子証拠開示支援システム「Lit i View」（リット・アイ・ビュー）を自社開発し、2011 年 10 月からはクラウドサービスとして「UBIC リーガルクラウドサービス」の提供を開始。

2003 年 8 月 8 日設立。2007 年 6 月 26 日東証マザーズ上場。資本金 602,993,750 円（2012 年 11 月 30 日現在）。

<本件に関するお問合せ先>

株式会社 UBIC 財務部 TEL: 03-5463-6344 FAX: 03-5463-6345